

佐藤ガス通信

株式会社 佐藤ガスサービス

〒252-0311

神奈川県相模原市南区東林間4-44-4

tel 042-743-0157 fax 042-742-3901

mail info@satogasservice.jp

hp http://www.satogasservice.jp

2020.8月号(第112号) 2020.8.15

長かった梅雨も明け、いつの間にかセミの声も聞こえてきます。季節はすっかり夏ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月も佐藤ガスサービスをよろしくお願い致します。

福島県での飲食店ガス爆発事故

ニュースでも報じられておりますが、7月30日に福島県で大規模なガス爆発事故が起きました。

報道の内容から自分が一番気になる点は、休業前から異臭がしていたという従業員の発言、また事故前日に作業に当たっていた人からも同様の証言があることです。なぜその人たちは上司に報告する等せずに問題を放置していたのか、なぜ供給しているガス会社に点検や修理の依頼をしなかったのかが甚だ疑問です。

また供給していたガス会社も配管が腐食していることを把握していたのに軽視していたり、もし7月に検針作業をしていたのなら休業中にもかかわらず数日分の使用量があった時点でガス漏れを疑い、確認点検作業を行っていればこのような被害は防げたのではないかと考えます。

また、あれだけの爆発が起きたということは相当量のガスが店内に充満していたはずで、プロパンガスに着臭しているタマネギの腐った臭いも凄かったはずでしょう。事故当日、大量に漏れているガスに気付かず店内に入っているのはコロナウィルス対策でマスクの着用が常習化し、においが分かりにくくなっていたからではないかということが考えられます。

改めてプロパンガスという危険物を取り扱っていることの重大さを認識し、日々のちょっとした変化に注意する意識とガス漏れに気付き事故を未然に防ぐ為にも嗅覚はとても大事な感覚と改めて考え、皆様の安全を守るためプロパンガス取り扱い従事者としてはマスクはしないようにしたいと考えております。

【こちらの記事は8月5日時点での情報を元に作成しております。今後判明する事故内容と相違がある場合がございます。予めご了承ください。】



代表 佐藤俊太郎

エコキャップ運動しています！

梅雨明け後、暑いですね。熱中症対策のためなど夏は冷たい飲み物を飲む機会が増えますが、そうするとたまるのがペットボトル！自治体によってもまちまちですが、ペットボトルはリサイクル回収に出してもペットボトルのキャップはそのまごみに出したりしていませんか？

佐藤ガスサービスでは毎月検針のためにご訪問する際、ペットボトルのキャップの回収をしております。ペットボトルのキャップを洗って乾かして、まとめてビニール袋等に入れ、毎月15日頃までにご自宅のガスメーターについているフックへかけておいていただくか、もし大量でかけられない場合や弊社にて遠隔検針システムを導入し、毎月検針票をご郵送させていただいているお客様は「郵便受けの近くにおいてあるよ〜」等とご連絡いただけましたら回収させていただきます。

ご自宅のメーターにもし右の画像のようにフックやエコキャップ回収用フックというシールが貼付されていない場合はご連絡いただければお取り付けにお伺い致します。

また、お客様より回収しましたキャップはしばらく弊社にて保管し、量が増えたらその都度受け入れて下さる団体に提供しております。捨ててしまえばごみになるものも、しっかり分別したら資源になります。皆様のご協力お待ちしております。



ガスの臭いはつけています！

今月の佐藤の記事の中で『着臭』という単語が出てきました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、LPガスは元々無色無臭なんです。

皆様がよくいうガス臭いというニオイは私達の元へガスが届けられる前に、硫黄系化合物を使い人工的に着臭をしています。その臭いは、玉ねぎが腐敗したような不快な臭いです。

どうしてわざわざ不快な臭いに着臭するのか？それはガスが目には見えない物質であり、たとえばどこからか漏れていても、無臭であれば気づくことができません。

そして着臭がもし薔薇のようにいい香りだとしたら「あら、どこからかいい香り…庭の薔薇が咲いたのかしら」と気にならない可能性もあり、このニオイは危険！と察知できませんよね。

また法律によってもしっかりと定められており、空気中に混入しても1/1000レベルで臭いが分かるように着臭することが義務付けられています。

このように事故を未然に防ぐように着臭は必要不可欠な仕組みとなっております。もし少しでもガス臭いなどでご不安な場合は、どうぞ弊社(042-743-0157)までご連絡をお願い致します。